

学位論文審査結果の要旨

令和 7 年 2 月 15 日

学位論文題目：日本の医療機関における費用構造の変革

- LMDI 法による分解分析と病院・製薬企業連携の可能性

学位申請者 黄清敏

審査委員 主査 新井一郎 

副査 袴塚高志 

副査 山路誠一 

日本の医療制度は、少子高齢化の影響などの問題から、その持続性に関して大きな問題を抱えている。特に、公立病院は、赤字経営のところが多く、薬剤師など医療者の報酬も少なく、これが崩壊すると、国民の健康維持への大きな影響があると考えられる。したがって、公立病院の経営の健全化は喫緊の課題であり、そのための原因分析、および提言を行ったのが本研究である。

研究は、綿密な背景分析がおこなった上で、公開データをもとにエネルギー効率や環境負荷の変動を分析するために使用される LMDI (Logarithmic Mean Divisia Index) 法をこの原因分析に用い、病院経営指標悪化の変動要因を特定することに成功した。本研究は、その明確な論理、および、その社会的応用の可能性から、評価すべき研究と思われる。

本研究は学術雑誌に英語で投稿され、査読対応も適切に対応して上で掲載された。また、これに先立ち、学会発表（オーラル）も行っている。

黄清敏, 寶毅, 新井一郎. LMDI 法を用いた日本の公立病院の医業費用推移の要素分解分析.

第 81 回日本公衆衛生学会総会 2022 年 10 月 8 日

学位論文発表会における発表、質疑応答も的確であったと評価できる。

以上のことから、申請者は、今後、薬学研究者として、自立して研究を計画・実施・報告できる能力を有していると考えられるため、薬学（博士）に値すると判断できる。